

# さくらっこ便り 2022年 7月9日号

## さくらっこ広場通信 第101号

### 雨なんてなんのその！ジャガイモを掘りました

コロナ禍やウクライナの世界情勢などに加えて、前日には、元首相の襲撃死亡事件があり、テレビニュースを見るだけでも、毎日の生活が心配になります。

一方「広場」は、前回に続き、大変多くの親子の皆さんにご参加いただきました。

16組、45名の0歳児（3名）から小学校5年生のさくらっこの皆さんです。

また、庭プロジェクトの学生たちから「ジャガイモ掘りと、新じゃがと一緒に食べたい」という申し出があり、あいにくの小雨模様でしたが、学生も14名参加して、大賑わいで、いつもの広場を開くことができました。

どんな時でも、こうして集まって「あそぶ」ことが、子どもたちにはとても大切です。

また、あそびの世界を保護者の皆さんや学生たちが一緒に作る意味について、ご理解いただいていることを、感謝申し上げます。

こんな時だからこそ、保護者の皆さんも一緒にあそびを楽しみ、皆さんとお話を楽しんでください。



これだけのスペースですが「こんなにとれるんですね！」という声を何人もの保護者の方からいただきました。みんな夢中で掘っていますが、最後のほうに来た人は、掘る芋がなくなって、学生が必死に探す始末。





ジャガイモ掘りと並行して、こちらでは、ジャガイモの味噌汁とジャガバターの準備が進んでいます。学生たちや、お父さんもジャガイモの皮むきだの切り方だの懸命に進めます。

子どもたちの真剣さを見てください！小さいお子さんも、初めて実物を切るお子さんも、保護者の皆さんや学生に見守られて、シッカリ切っていますよ。ニンジンレンジで柔らかくしました。



ホットプレートで、薄切りの新じゃがをひたすら焼きました。小学生二人と、お母さんが試行錯誤しながら、懸命に焼き続けています。そのわきで、学生たちが、芋を剥き続けています。イモねえちゃんだなんて言いません。

いやはや、芋工房・・・とでもいう感じです。大鍋で、二つジャガイモの味噌汁（味噌は広場手作り）、ジャガバターをひたすら作っています。Hくん、Aくんの集中力（お父さんお母さんのご支援も！）学生たちの必死さにも脱帽でした。



赤ちゃんたちは、ゆったりとご機嫌・・・すやすや・・・回を重ねるたびに大きくなってきますね。



何だかんだ言っても、おままごとは最強です。おままごとと、クッキングが隣のコーナーで同じ世界でつながっているようだったと、学生たちが話してくれました。イメージの世界を自由に行き来しているようで、子どもたちの豊かな世界に感動します。



室内と、テラスと両方プールを準備しました。最初は人見知りしていたお友達も、お姉さんと一緒に今度は外で水遊びをしました。



かわいい金魚を並べて、お話しができていきます。すてきですね。



こちらは、4人でひたすら虫捕りを続けたそうです。(学生が見てくれたのです) びっくりしたのは、バッタがどんどん大きくなってきたことです。手をかまれた人もいました・・・



虫を獲ってきた後に「絵に描きたい！」と子どもたちのほうから言ってくれたそうです。その作品です。バッタが生き生き跳んでいます。色もとても自由できれいで、学生が、とても感動していました。



お腹が空いたので、先に食べ始めました。ジャガイモが大好きなんですって。絵も描きました。



家族ごとに和やかに食べることができました。「おいしい！」と大好評でしたが、みそ汁は一人一杯でギリギリでした。ジャガバターが特に大人気でした。新鮮な野菜を自分たちで掘って、調理もできて、大満足でした。



ずっと芋剥きをしてきていた、Mちゃんです。「何にもなくなったねえ」ほんとだね。



食べ終わっても元気にさくらっこ達、この後、晴れた外でまたひと遊びして帰りました。

すごい1日でした。食器や食材の準備から山のような洗い物、最後の片付けまで頑張って、その中でも子どもたちとたくさん遊んだ学生たちにも、大きな拍手です。また遊びに来てくださあい！

<7月、8月の予定>

7月23日	親子クッキング
8月20日	水遊びをしよう
8月27日	水遊びをしよう

**\*7月23日は、食物栄養専攻の市川先生ゼミ生の「野菜教室」です**

**\*濡れてもよい服装をご準備ください**

**暑さにご注意ください。**

☆毎回、参加ご希望の方は、下記までメールでご連絡をお願いします。

<連絡先> 狩野奈緒子（桜の聖母短期大学 生活科学科 教員）[naoko-k@ssjc.ac.jp](mailto:naoko-k@ssjc.ac.jp)